

春の火災予防運動 2月29日～3月13日

春先は空気が乾燥して火災が発生しやすく、また季節風などで大火になりかねません。そこで、市民のみなさんに火災の恐しさを認識していただき、火災を防止するため、2月29日から3月13日まで「春の火災予防運動」を行います。運動は前半の7日間は車両や船舶、林野の火災防止後半の7日間は一般火災防止を重点に進めます。なお、運動期間中に次のことを行います。

- 消防演習(2月29日)
- 空地などの枯草処理指導
- 消防団による一般家庭の火災予防査察
- 危険物輸送車両の立入検査
- 営業用、自家用バスなどの立入検査
- 避難訓練現地指導
- 病院、ホテルなどの消防設備自主検査
- 自衛消防隊操法研修会



- 身体不自由老人家庭の火災予防の呼びかけ
- 一般防火講座の開催
- 私立幼稚園などの巡回映画会
- 火災現場写真展

おたずねしま

卸売市場の大型化、総合化、公設化について説明してください。

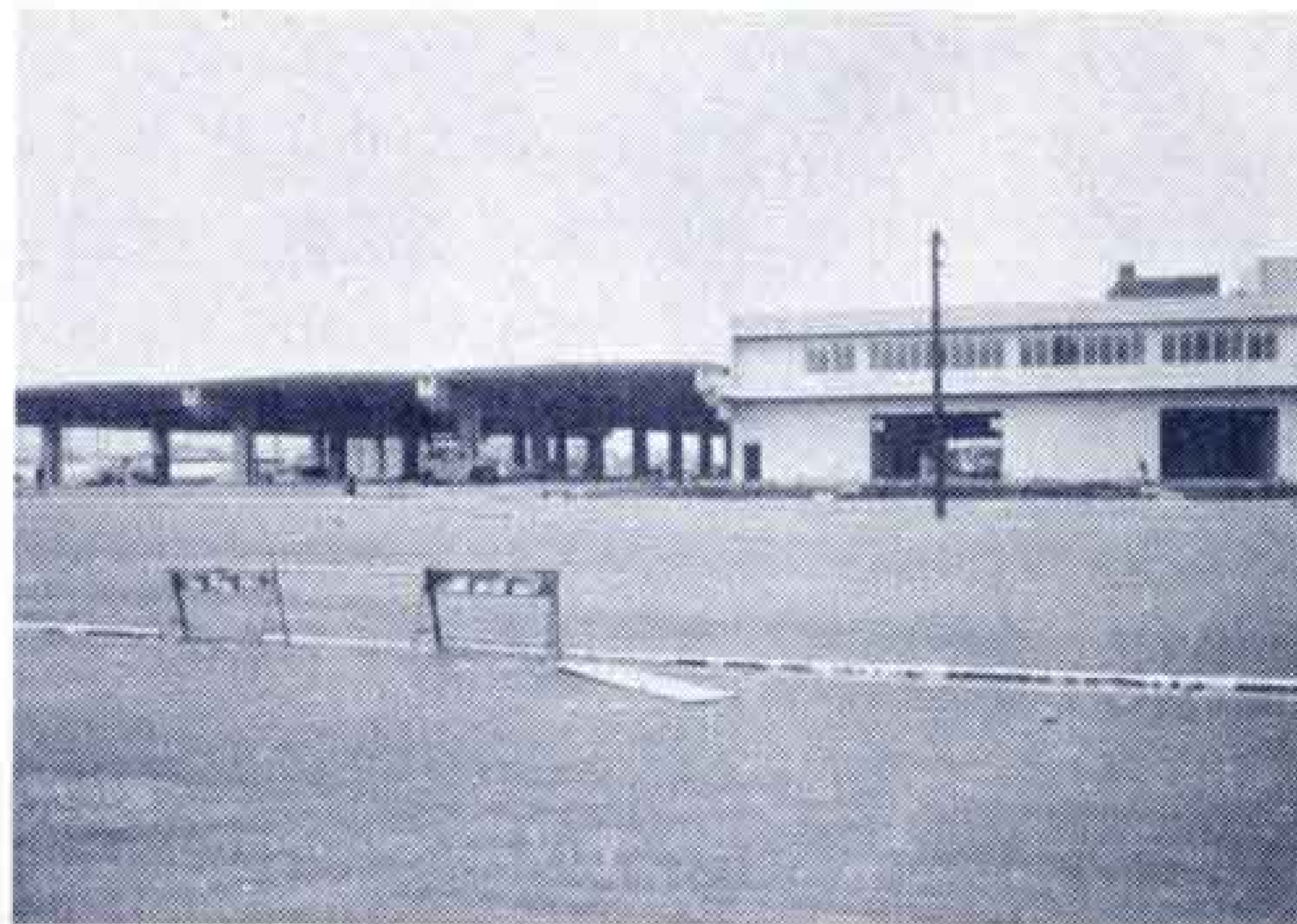
答

静岡県は、昭和47年に「県卸売市場整備計画」を策定しました。この整備計画は、卸売市場法並びに卸売市場の整備基本方針に基づいて、将来の流通事情に対応するため卸売市場の適正な配置の方針、近代的な卸売市場の立地、配置

などに関する指標などを内容としたものです。「富士市公設地方卸売市場」は、この整備計画に基づくもので、公設地方卸売市場としては県下第1号の市場です。

整備計画で市場整備の基本的方向として、市場の大型化や総合化、公設化が3本の柱となっています。大型化とは文字通り市場の規模を大型化することであり総合化とは青果、水産、その他食品など複数の部類を

同一の市場で取扱うことです。さらに地方公共団体が市場の施設を建設し、民営の業者によって営業されることを公設化といっています。



3月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

3月7日

- 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
- 鈴木医院(宇東川東町52-2213)
- 産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

3月14日

- 外科 望月医院(本市場 61-8075)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

3月20日

- 外科 中央病院(本市場 61-8800)
- 快明堂医院(中央町1 51-0301)
- 産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

3月21日

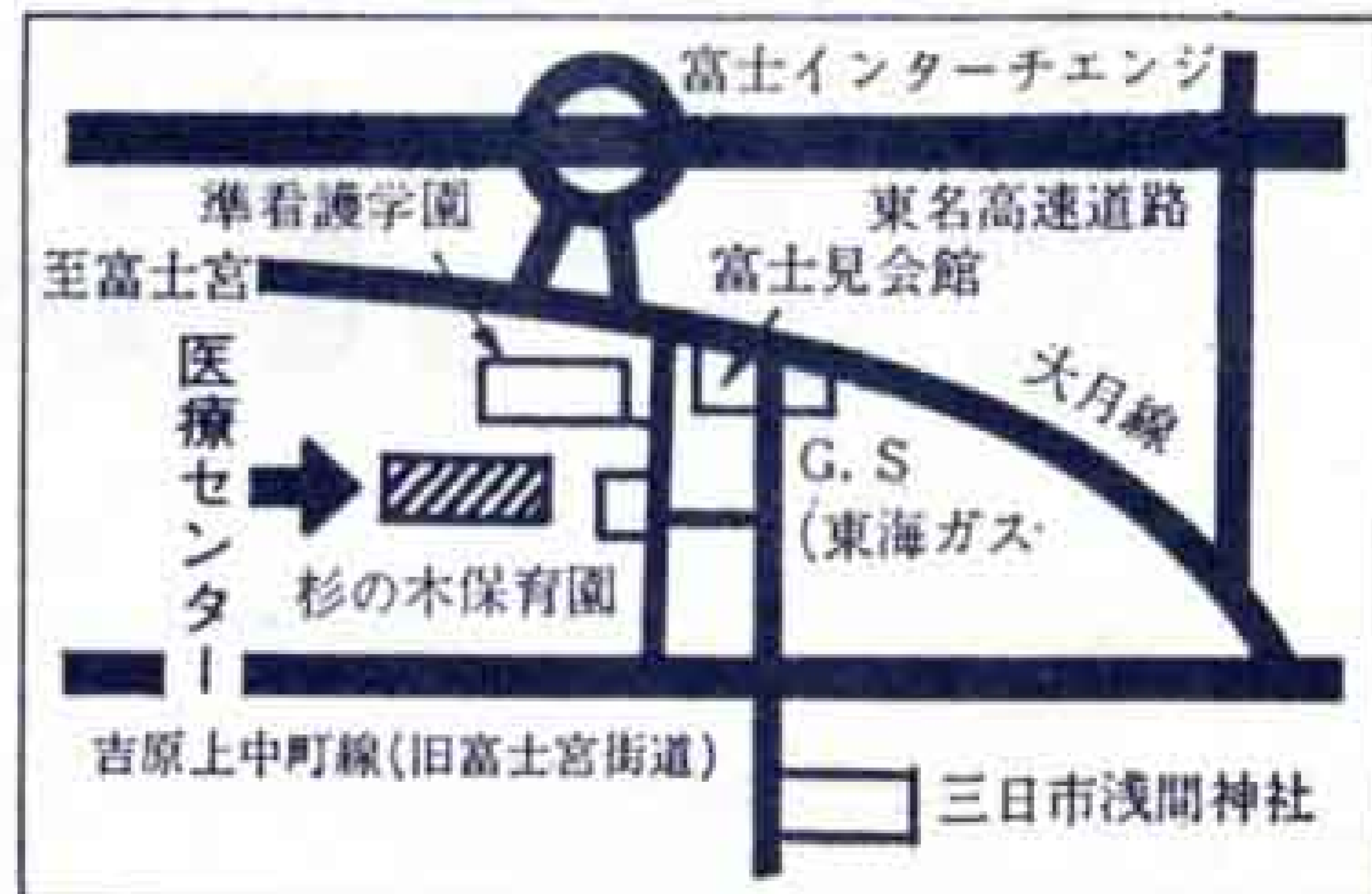
- 外科 中央病院(本市場 61-8800)
- 渡辺病院(錦町1 51-3751)
- 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

3月28日

- 外科 山崎医院(厚原 71-3315)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。